

NARO Research Prize 2007

## 表彰

### 土嚢を用いた高耐久性ため池工法

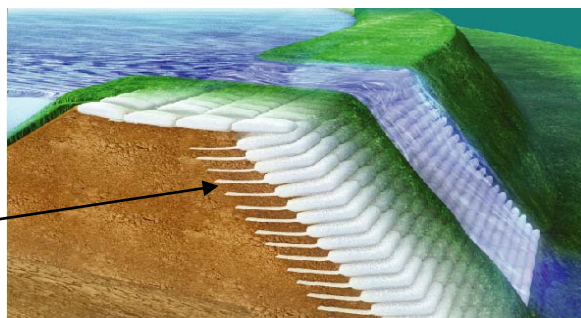
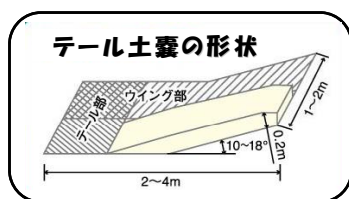
毛利栄征、松島健一、堀 俊和（農村工学研究所施設資源部土質研究室）

#### 研究の目的・背景等

農村地域の暮らしを維持する「ため池」の多くは100年以上前に建設され、老朽化が進行している。地球の温暖化や農村地域の都市化の進展などため池を取り巻く自然環境及び社会環境は著しく変化しており、ため池の安全性を回復及び向上させることが社会的な緊急課題となっている。

#### 研究の概要

ため池の堤体を補強するために、土嚢本体の端部にテールが接続した大型の高機能土嚢（テール土嚢）を開発し、これをため池堤体に斜めに積み上げることによって、高耐久性のため池堤体を構築する技術を開発した。大型土嚢部分と旧堤体が一体となるため、地震に対する安全性を飛躍的に向上させるとともに、豪雨による洪水が堤体を一時的に越流する場合でも、決壊を防止することができる。このため、減災効果とともにため池による地域防災機能を高めることができる。



松島健一、毛利栄征、堀俊和

 **農研機構**  
NARO 独立行政法人 農業・食品産業技術総合研究機構

